

## 今後の大雪等に備えての準備・対策

平成23年12月1日  
北海道農政部

冬期間、北海道は大雪や暴風雪に見舞われる恐れがあります。

このため、特に施設ハウス等への影響が懸念されますので、事前の備えとともに、今後の気象情報に十分注意し、被害を最小限にとどめるよう、次の事項の徹底に努めてください。

### 1. 降雪に備えた準備

- ① ビニールやハウスバンド等施設各部の損傷・ゆるみなどの状態を総点検し、必要に応じて速やかに補修する。
- ② 応急補強用支柱・筋かいなどを予め利用しやすい場所に整頓保管しておき、大雪予報が出されたならば直ちに設置する。
- ③ 風の強いところでは、降雪に加えて風によるハウスへの負荷が大きくなることから、施設周囲の防風網も考慮する。
- ④ ハウス周辺に堆積雪があると屋根からの落雪を妨げ、施設の側壁に圧力を加えることになるので除雪しておく。
- ⑤ 停電に備えて自家発電機や簡易暖房機、暖房用ろうそく等を確保して、緊急時に保温暖房できる体制づくりに努める。

### 2. 降雪時の対策

- ① 雪が積ってきたなら速やかに雪降ろしを行い、ビニールが雪でたるみ、滑落困難になるのを防止する。
- ② ハウスの気密性を高め、加温施設がある場合は可能な範囲で室温を高め、二重ハウスの場合は日中内張を開放し、外張り天張面を温め落雪を促す。  
ただし、ハウス内に育苗中の作物や栽培作物がある場合は、作物の適温管理範囲内とする。
- ③ 吹き溜まりやハウス片側落雪があると、負荷がアンバランスとなりハウスがゆがむことがあるのでなるべく速やかに除雪する。
- ④ 風雪が強い場合はむやみにハウスに近づかず、安全の確保を心がける。

### 3. 降雪後の処置

- ① 降雪後は、ビニールやハウスバンド等施設各部の損傷・ゆるみなどの状態を総点検し、必要に応じて速やかに補修する。

- ② 融雪水がハウス内に入り込まないように、ハウス周辺の排水経路の確保を行い排水に努める。

お問い合わせ先：食の安全推進局技術普及課（電話011-231-4111 内線27-823）